

オリンパス展示ブースでは、新製品をはじめ、診断から治療までのフルラインアップを展示しております。

消化管診断

M-NBI

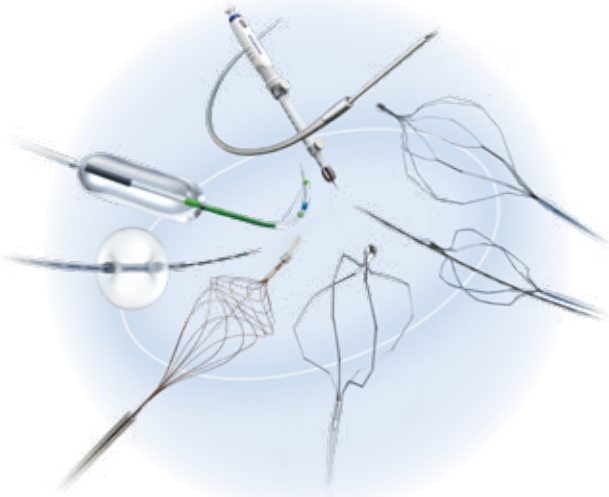


消化管治療

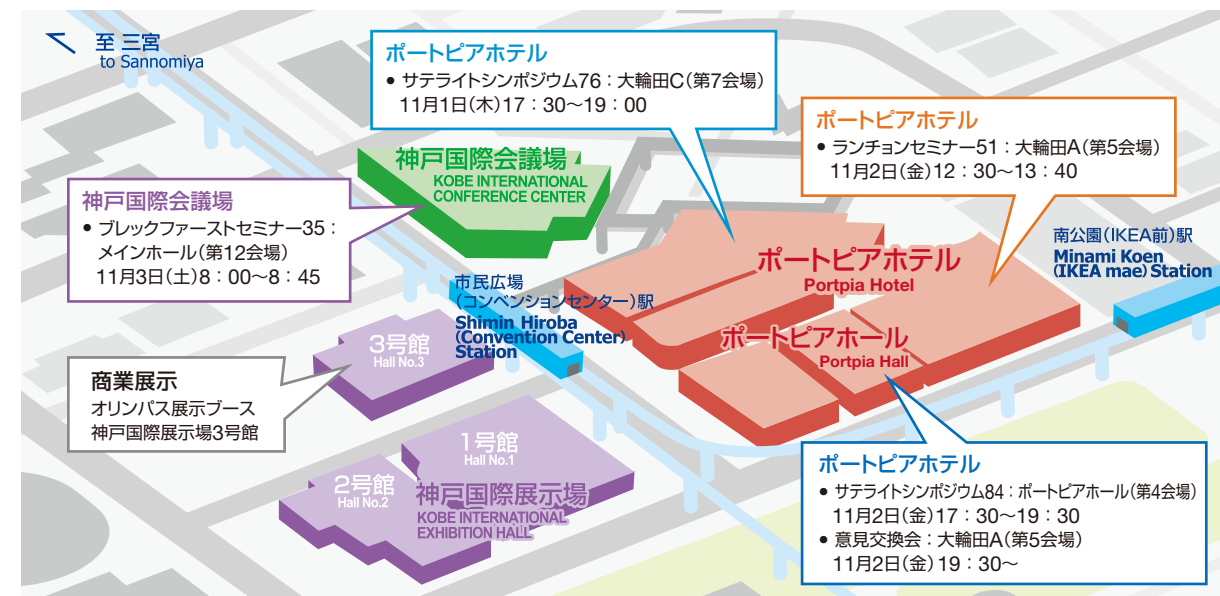


肝胆膵診断・治療

運用支援



会場周辺地図



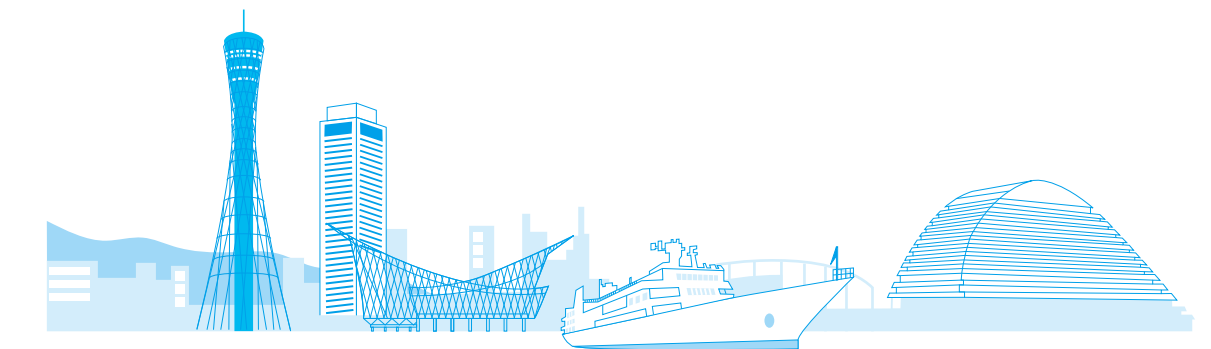
イベントスケジュール

11/1 (木)	17:30 19:00	サテライトシンポジウム76	会場：ポートピアホテル 大輪田C (第7会場)
		胃内視鏡検診時代のスクリーニング検査と精密内視鏡	【司会】 間部 克裕 先生 (国立函館病院 消化器科) 【基調講演】 間部 克裕 先生 (国立函館病院 消化器科) 【演者】 青木 利佳 先生 (とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健康センター) 野中 康一 先生 (埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科)
11/2 (金)	12:30 13:40	ランチョンセミナー51	会場：ポートピアホテル 大輪田A (第5会場)
		胆膵EUSの新たな潮流 ~スクリーニングからFNAまで~	【司会】 花田 敬士 先生 (JA尾道総合病院 消化器内科) 【基調講演】 花田 敬士 先生 (JA尾道総合病院 消化器内科) 【演者】 芹川 正浩 先生 (広島大学病院 消化器・代謝内科) 土屋 貴愛 先生 (東京医科大学 臨床医学系 消化器内科学分野)
11/2 (金)	17:30 19:30	サテライトシンポジウム84	会場：ポートピアホテル ポートピアホール (第4会場)
		最良なESDを目指して ~最新機器の有用性と最適なデバイス選択~	【司会】 小野 裕之 先生 (静岡がんセンター 内視鏡科) 【司会】 矢作 直久 先生 (慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター) 【基調講演】 矢作 直久 先生 (慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター) 【演者】 大園 研 先生 (NTT東日本関東病院 内視鏡部) 菊池 大輔 先生 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院 消化器内科) 池原 久朝 先生 (日本大学 医学部 内科学系 消化器肝臓内科学分野) 辻 陽介 先生 (東京大学医学部附属病院 消化器内科) 【総括発言】 小野 裕之 先生 (静岡がんセンター 内視鏡科)
		サテライトシンポジウム意見交換会	ポートピアホテル 大輪田A (第5会場)
11/3 (土)	8:00 8:45	ブラックファーストセミナー35	会場：神戸国際会議場 メインホール(第12会場)
		内視鏡部門システムは新たなステージへ ~「いま」の分析を「明日」へつなぐ戦略的データ活用術~	【司会】 松田 浩二 先生 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科) 【演者】 小澤 俊一郎 先生 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器内科) 尾田 恭 先生 (尾田胃腸内科・内科)

オリンパス展示ブース 関連イベントのご案内

学会会期：2018.11.1(木)~4(日)

会場：神戸国際展示場・ポートピアホテル・神戸国際会議場



サテライトシンポジウム76

胃内視鏡検診時代のスクリーニング検査と精密内視鏡

対策型胃がん検診として胃内視鏡検診が正式に推奨され、内視鏡検診の導入を検討する自治体が増加しています。本セミナーでは、内視鏡検診や日常のスクリーニング内視鏡検査をされている先生方を対象に、質の高いスクリーニング内視鏡検査について、検診及び精密内視鏡、内視鏡治療のエキスパートの先生に、それぞれの立場でご講演いただき、内視鏡検診時代のスクリーニング検査について理解を深めたいと思います。



司会・基調講演
間部 克裕 先生

日時	2018年11月1日(木) 17:30~19:00
会場	ポートピアホテル 大輪田 C(第7会場)
司会	国立函館病院 消化器科 間部 克裕 先生
基調講演	国立函館病院 消化器科 間部 克裕 先生



胃内視鏡検診における最適なスクリーニング検査

演者
とくしま未来健康づくり機構
徳島県総合健診センター
青木 利佳 先生

胃内視鏡検診では経鼻内視鏡検査が患者様の受容性向上の観点から注目されています。より質の高いスクリーニング検査を行うための経鼻内視鏡による観察手順や、明るくなったNBIを用いた中遠景病変の効率的な拾い上げ診断のコツを青木先生にご講演いただきます。



AIに負けない内視鏡医を目指して!

演者
埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科
野中 康一 先生

胃内視鏡検診時代の上部消化管内視鏡スクリーニング検査では、的確なリスク層別化に基づく効率的な拾い上げ診断が重要です。経口内視鏡スクリーニング検査でのH.pylori胃炎の診断のポイントや、ハイリスク症例における中遠景NBI観察を用いた効率的な拾い上げ診断のコツを野中先生にご講演いただきます。

ランチョンセミナー51

胆膵EUSの新たな潮流 ~スクリーニングからFNAまで~

EUSは、2016年度に改訂された膵癌診療ガイドラインにおいてより早期の施行が推奨され、また今年度の診療報酬改訂においてもFNAが増点となる等、年々その位置付けが高まっております。本セミナーでは、膵癌早期発見のためのラジアルによる画像診断のコツから、FNA施行時のテクニックまで、最新のEUSの話題をエキスパートの先生方にご講演いただきます。



司会・基調講演
花田 敬士 先生

日時	2018年11月2日(金) 12:30~13:40
会場	ポートピアホテル 大輪田 A(第5会場)
司会	JA尾道総合病院 消化器内科 花田 敬士 先生
基調講演	JA尾道総合病院 消化器内科 花田 敬士 先生



ラジアルEUSスクリーニングの実際 ~新型ラジアルスコープの使用経験を踏まえて~

演者
広島大学病院 消化器・代謝内科
芹川 正浩 先生

EUSは膵・胆道疾患の診療にもはや欠かせない検査手技になりました。その一方で患者様にとっても、やさしい検査であることが求められています。今回は初学者の先生方向けに、新型ラジアル型スコープを用いた胆膵疾患のスクリーニングについて、芹川先生にご講演いただきます。



EUS-FNA困難例へのアプローチ

演者
東京医科大学 臨床医学系
消化器内科学分野
土屋 貴愛 先生

EUS-FNAは、2010年の保険収載以降本邦においても急速に普及し、現在ではスタンダードな内視鏡手技として施行されています。一方で、その中にはアプローチの難しい部位や穿刺自体が困難な病変も存在します。土屋先生には、FNAの困難例に対するストラテジー、実臨床におけるコツ・テクニックについて、EZ Shot 3 Plus 25Gの使用経験を踏まえご講演いただきます。

本セミナーは整理券制です。昼食をご用意しておりますが、ご参加にはあらかじめランチョンセミナー整理券(無料)が必要です。学会会場に設置した発券機または学会アプリ「MICEnavi」にてお申込み下さい。

【ご用意数】500名様分
【発券日時】前日13:45 ~ 17:30(一部のみ発券) 当日 7:30 ~ 11:00
【発券場所】1. 神戸国際展示場1号館2階 2. ポートピアホテル南館地下1階エメラルド

サテライトシンポジウム84

最良なESDを目指して

~最新機器の有用性と最適なデバイス選択~

日本で生まれたESDは国内において標準的治療法として広く普及し、多くの早期がんが内視鏡で治療される時代になりました。そして、ESDは現在、国内にとどまらず海外においても急速に広がりを見せています。手技の標準化や機器・デバイスの進歩に伴い、発展してきたESDですが、安全・効率的に治療を実施するためには機器やデバイスの特性を理解し、部位や場面に応じた適切なデバイス選択や機器設定を行うことが重要です。本セミナーでは、第一線で活躍するESDのエキスパートの先生方より、各臓器の特性に応じた治療戦略や手技のコツ、細かい機器設定に至るまで最良なESDを目指す上で抑えておくべきポイントについて、最新機器の使用経験に触れていただきながらご講演をいただきます。

日時	2018年11月2日(金) 17:30~19:30
会場	ポートピアホテル ポートピアホール(第4会場)
司会	静岡がんセンター 内視鏡科 小野 裕之 先生 慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター 矢作 直久 先生
基調講演	慶應義塾大学 医学部 腫瘍センター 矢作 直久 先生
総括発言	静岡がんセンター 内視鏡科 小野 裕之 先生



局注で勝負あり! ~ヒアルロン酸を用いた局注マネジメント~

演者
NTT 東日本関東病院 内視鏡部
大圃 研 先生

局注はESDを行う上での初めの一歩であり、適切な第一歩(局注)を踏み出せるかは、ESDの成功に大きく影響を与えます。本講演では、臓器や部位に応じた局注針や局注剤の選択、適切な隆起を得るための局注のコツまで、明日から実践できるESD局注マネジメントの極意についてご講演をいただきます。



安全・確実な食道ESD ~機器・デバイス選択と使用法~

演者
国家公務員共済組合連合会虎の門病院 消化器内科
菊池 大輔 先生

近年、食道ESDは表在食道癌に対する治療法の第一選択肢となりつつあります。その一方で臓器特性により手技難易度は依然として高く、安全・確実な手技の施行には使用機器やデバイスの特性を踏まえた上で治療戦略を構築することが重要です。菊池先生には、新型上部処置用スコープの使用経験から、高周波装置の使い方やデバイス選択まで、使用上のコツやポイントを交えてお話いただけます。



ITknife 2と新型高周波焼灼電源装置を用いた胃ESDの実際

演者
日本大学 医学部 内科学系
消化器肝臓内科学分野
池原 久朝 先生

胃から始まったESDは食道、大腸とその適用が広がり、現在では消化管がんの代表的な治療の1つとなっています。胃は他の臓器と比べ管腔が広くアプローチ性の悪い部位が存在するだけでなく、血管が豊富な部位では出血が起こりやすい臓器です。そのため、病変の大きさや部位に応じて内視鏡やデバイスを使い分けるだけでなく、デバイスにあった適切な高周波設定を行う事が重要です。本講演では胃ESDにおけるITknife 2の効果的な使用法と新型高周波焼灼電源装置のITknife 2での設定を動画を交えてご講演いただきます。



大腸ESDの最新デバイスを使いこなす ~技術と経験を道具でカバー!~

演者
東京大学医学部附属病院 消化器内科
辻 陽介 先生

大腸がん患者の増加に伴う内視鏡治療の増加により、大腸ESD手技は一般的なものになりつつあります。一方で、臓器特性により手技の難易度は依然として高く、手技難易度の低減を目指した様々なデバイスの開発がなされており、その効果的な活用も重要な要素となってきています。辻先生には、新型スコープの使用経験から手技効率向上のためのナイフ選択、手技完遂のためのサポートデバイス活用まで、最新機器の使用経験を交えてお話をいただきます。



司会・総括発言
小野 裕之 先生



司会・基調講演
矢作 直久先生

ブラックファーストセミナー35

内視鏡部門システムは新たなステージへ

~「いま」の分析を「明日」へつなぐ戦略的データ活用術~

内視鏡部門システムは、データを登録して保存するという段階から、蓄積されたデータを活用し医療の研究や効率化に役立てるといった新たな段階に市場が変化しております。本セミナーでは、内視鏡マネジメントシステム Solemio QUEVやSolemio ENDOにおける実際の運用事例や蓄積されたデータの戦略的な活用ノウハウについてご講演をいただきます。



司会
松田 浩二先生

日時	2018年11月3日(土) 8:00~8:45
会場	神戸国際会議場 メインホール(第12会場)
司会	聖マリアンナ医科大学横浜西部病院 消化器内科 松田 浩二 先生



Solemio QUEVにおける新機能の有用性とデータ活用の可能性

~ENDOからQUEVへ、移行の実際と運用効果~
演者
聖マリアンナ医科大学横浜西部病院 消化器内科
小澤 俊一郎 先生

聖マリアンナ医科大学横浜西部病院様は、Solemio ENDOからSolemio QUEVへ2世代に渡る継続的なデータ収集を実現されています。小澤先生にはSolemio QUEVにおける実際のご使用経験談とその効果、また学術的な蓄積されたデータ活用の将来性についてもお発表いただけます。



Solemioにおけるデータ活用の有用性

~使わないのもったいない、日々のレポート入力データ~
演者
尾田胃腸内科・内科
尾田 恭 先生

Solemioは、日々のレポートデータを単純に診療記録として残す目的だけではなく、蓄積されることにより学術研究、リスクマネジメント、経営支援の側面等でもメリットがございます。尾田先生には、実際のSolemioデータの活用ノウハウとその効果、また将来の構想についてご発表いただけます。



質の高い症例画像を
いつでも
あなたの手もとに

EndoAtlasは、多くの先生方のご協力により、質の高い最新の内視鏡症例を閲覧できる環境をご提供する事で、内視鏡診断学の普及・発展に貢献する事を目指しています。内視鏡画像を中心とした症例集機能と、画像から診断を類推する診断トレーナー機能から構成される「エンドアトラス」。新しいWEB内視鏡症例集を、ぜひご活用ください。



WEB内視鏡症例集

EndoAtlas

エンドアトラス 検索

www.medicaltown.net/endoatlas/

サテライトシンポジウム意見交換会のご案内

日時：11月2日(金)サテライトシンポジウム終了後
会場：ポートピアホテル 大輪田A(第5会場)

サテライトシンポジウム終了後に意見交換会の場をご用意いたしましたので、ぜひご参加ください。先生方のご来場を心よりお待ちしております。